七月廿日迄に千七百廿九名（約三倍強）に達して居ります
毎月三割から少い月でも二分五厘の組合員が増加して居り
ます。

以上。

◎関東同盟調査部に就て◎

昨年度中に左記の通り四回関東同盟調査部委員会が開催されました。其都度吾関東金属労働組合は代表して本部員が出席し、左記事項を協議し、調査部のものは各組合各支部誌に発表しました。

調査部委員会開催日時

大正十四年十一月六日
大正十五年一月十日
仝　四月廿六日
仝　八月八日

* * *

調査事項

各組合調査、メーデー調査、
解雇、退職手当調査、賞与調査、
昇給率調査、家計調査、

争議部報告

細谷松太

本年度の争議件数は前年（創立前三組合調査）に比較して六件の増加を見るに過ぎないが、其の参加人員に於ては三位強・延人員数に於ては七位強に達して居る。

大体に於て、争議の傾向は前半に於ては財界不況の禍ひされたる處の、工場解散、解雇、及で組合の切崩が殆んどで、冷汗を流しての受動である。然し後半に於ては十二分の沈着さを以て攻勢の態度を示して居る、不況時代に於ける資本家の情勢を機宜に掴み、其れを利用して待遇改善の要求したのが多い。そして大体勝利に期して居る、妥協したのもあるが不利に終つたのは一つもない。

後半に於ける資本家側からの挑戦に対しては何れも逆に押返して居る。

茲に特筆す可き事は吉安惰子罷業と東京毛織、紛議がある。

吉安惰子の争議は実に関東合同労働組合の全力を注いだ争